

ラーニング・サポーター ♪ 6月のつばやき

-JWUラーニング・コモンズさくらより-

図書館 2 階 JWU ラーニング・コモンズさくら(以下「さくら」と略)では、学科・専攻推薦を受けたラーニング・サポーター(本学大学院生)が学修相談を受け付けます。学修相談以外にもミニ講座の開催や「さくら」の活動支援をしながら、感じたこと、思ったことを「つばやき」、本学学生の皆さんに学修相談に訪れてもらいたいと思っています。ラーニング・サポーターは「さくら」で皆さんをお待ちしています！

<6月のつばやき♪INDEX>

p1 きれい好きは生きづらい?! @児童学科サポーター(大学院博士課程後期3年) 6月6日 up

p2 埼玉県の穴場スポット 4 @史学科サポーター(大学院博士課程前期2年) 6月3日 up

p2 自分に合った勉強法を見つけよう! @数物情報科学科サポーター(大学院博士課程後期3年) 6月2日 up

つばやき1 ♪

きれい好きは生きづらい?!

社会の常識やルールは時代とともに変化するものである。新型コロナウイルスの出現によって、変化せざるを得なかった常識もいくつかあるだろう。コロナ対策の消毒も新しい「常識」の一例であり、本学図書館の学修相談席や貸出機器スペースにも除菌シートを置いていただいている。サポーターである私も、座席を使用する前や使用した後は、除菌シートを使って机を拭くようにしている。私の弟も、受験生だった頃、図書館や塾で使う自分の机と椅子を、持参したウェットティッシュで毎日拭いて消毒していたらしい。あちこちでそうした光景を見かけるようになった。

ただ、弟が机やら椅子やらをせっせと拭いていたのは、コロナが流行する前の話である。当時は、そんな人は滅多におらず(?)周囲の人の視線を感じるがあったらしい。今は、弟曰く、「昔は変わっていると周りから思われていたけど、もう普通の人だから」とのこと。弟はいわゆる「きれい好き」で少々潔癖なところがある。外出したら風呂に入るまでベッドに乗らない、家族だろうと人が口をつけたものは食べない(私の家は鍋を直箸でつかない)、エスカレーターの手すりにつかまらない、など。「生きるの大変そうだね」と私はよく心の底から弟に言ってしまうが、「ノンストレスな状態を保つために自分が気を付けるのは仕方ないことだけど、気にならない人が羨ましい」らしい。

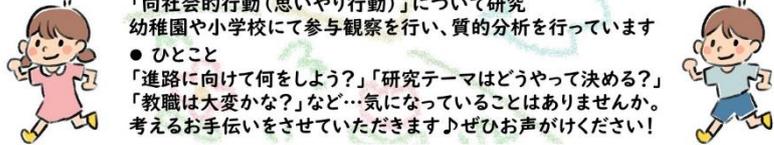
ふと思ったのが、自分の中の清潔かそうでないかの線引きを、私は他者との親密度で決めている気がする。弟の話ばかりしたが、私も知らない人が口をつけたものは食べられない。友達や家族だから、「一口頂戴」ができる。そこにはある程度関係性による線引きがあって、相手に「箸箸がないと鍋をつつけない」と言われたら、自分たちの仲を否定もしくは拒絶されたような気がする人もいるのかもしれない。単に「気にする人」で終わることが多い気がするが、マイノリティであるのは大変そうである。

そういえば、父のこともどうかしていると思ってしまうことがある(※個人の感想です)。昔、遊園地にある、靴を脱いで入るタイプのお化け屋敷に、知人にチケットをもらったとかで家族全員で入ったことがある。入場の列に並んでいるとき、父がどこかに消え、戻ってきたときにはどこからか靴下を買ってきており、手に2足持っていた(ひとつは例の弟の分)。不特定多数の人が歩いた床に触れた靴下で、自分の靴を履けないということらしい。

何を気にするかは人それぞれである。例えば、潔癖の弟が気にならない「お風呂の残り湯で洗濯物を洗うこと」に対して、弟以外の家族は、私も含め全員抵抗がある。他人に迷惑をかけないのであれば、「変わった人」も「そういう人なんだな」と寛容する社会になればいいと思う。常識が変われば「変わった人」も「普通の人」である。いつかお化け屋敷の入り口に新品の靴下が並ぶことが「普通」になるかもしれない。

**人間生活学研究科 人間発達学専攻
博士課程後期3年(児童学)**

- 経歴
本学 家政学部児童学科 卒業
本学 家政学研究科児童学専攻(修士)卒業
- 資格
保育士/幼稚園教諭/小学校教員
- 研究分野
「向社会的行動(思いやり行動)」について研究
幼稚園や小学校にて参与観察を行い、質的分析を行っています
- ひとつのこと
「進路に向けて何をしよう?」「研究テーマはどうやって決める?」「教職は大変かな?」など…気になっていることはありませんか。考えるお手伝いをさせていただきます♪ぜひお声がけください!



つばやき2♪

埼玉県穴場スポット4

皆さん、いかがお過ごしでしょうか？6月に入り、いよいよ梅雨の季節がやってきますね。季節の遷り変わりの時期ですので、くれぐれもご自愛ください。

さて今月のつばやきですが、久しぶりに埼玉県の穴場スポットをご紹介しますと思います。今回ご紹介する場所は、埼玉県行田市にある「埼玉古墳群」です。

埼玉古墳群は「埼玉(さきたま)」にあり、県名発祥の地でもあります。古墳群は5世紀後半から7世紀中頃にかけて、大宮台地の北端に連続して築かれた、前方後円墳8基、大型円墳2基、方墳1基並びに小円墳群で構成されている古墳群です。特に「稲荷山古墳」は、「高校の授業でやったような？」と思われる方もいらっしゃるのではないのでしょうか…？そんな埼玉古墳群は出土遺物とともに、古墳時代当時の王権との関わりや地域支配の在り方を考究する上で欠くことが出来ない重要な遺跡とされています。2020年3月には、埼玉県内初の特別史跡にも指定されました。また、近くには「埼玉県立さきたま史跡の博物館」があります。教科書にも載っている国宝「金錯銘鉄剣(きんさくめいてっけん)」が展示されている他、稲荷山古墳の埋葬施設から出土したヒスイの勾玉や鏡といった副葬品も国宝指定されており、これらも見ることが出来ます。さらに、將軍山古墳から出土した、全国でもまだ3例しか見つかっていない馬につける鉄のカブトである馬冑など、埼玉古墳群の各古墳から出土しためずらしい出土品も見学することが出来ます。

ところで、話が逸れますが…。先日、大阪府堺市に行く機会があり、その際に仁徳天皇陵古墳の周りを歩きました。世界遺産「百舌鳥・古市古墳群」は、古代日本列島の王たちの墓群です。百舌鳥エリアの23基21件、古市エリアの26基24件の古墳が世界遺産の構成資産として選ばれています。仁徳天皇陵古墳はとても大きく、一周するのに1時間はかかったと記憶しています。埼玉古墳群との規模の違いに圧倒されながらも、当時の技術力や古代日本の政治文化の中心であったことを考えながら歩くことで、歴史を感じる事が出来ました。

古墳は一見、木々が生い茂っている丘にしか見えませんが、古代日本の歴史を考える上では、とても重要な遺跡です。皆さんも機会がありましたら、ぜひ見学に行ってみてくださいね！

～参考 URL～

「埼玉県立さきたま史跡の博物館」(最終閲覧日:2022年6月3日)

<https://sakitama-muse.spec.ed.jp/home>

～参考資料～

「世界遺産 百舌鳥・古市古墳群—古代日本の墳墓群—」パンフレット(百舌鳥・古市古墳群世界文化遺産登録推進本部会議、2019年)

つばやき3♪

自分に合った勉強法を見つけよう！

新年度が始まり2ヶ月が経ちました。皆さんは早く感じますか？それとも遅く感じますか？

6月は、学科や履修科目によっては中間試験がありますね。今回は、私の学部時代の試験対策勉強法をつばやきたいと思います。

私の出身学科は現在の数物情報科学科で、「試験問題=計算問題」と思われがちですが、数学では定理の説明や証明、情報では用語の説明などの暗記もあります。

私は暗記がとても苦手で、高校時代から、家で教科書をひたすら音読し耳と目と頭で覚えていました。暗記科目には時間がかけられなかったため、起床後と就寝前の時間を活用して音読し、電車内では黙読して対策しました。

数理・物性構造科学専攻 博士課程後期3年

経歴：数物科学科(現:数物情報科学科) 数学情報コース 卒業
数理・物性構造科学専攻 博士課程前期 修了

関連分野：関数解析、偏微分方程式、現象を表す方程式、モデリング…

取得資格：中学校教諭専修免許状(数学)、高等学校教諭専修免許状(数学)

学生生活に関すること、数学に関すること、気になること…。
どんな些細なことでも気軽にお声がけください。



また、数学や物理など手を動かしながら考える科目は、試験 2 週間前から授業内容の復習を始め、わからない部分はその都度、空きコマやオフィスアワーに先生のもとを訪れて質問しました。

学部 1 年次は先生に質問することが大きな壁に感じていましたが、2 年次は自力での勉強だけでは限界があると感じ、必要に迫られて研究室訪問し、気がついたら通い詰めていました(笑)。先生方はいつも温かく研究室に迎え入れてくださるので、もっと早く活用すれば良かったと後悔しました…。

これは余談ですが、オフィスアワーには全学年の学生が研究室に来るため、研究室訪問を通して知り合った先輩方の姿は、私の大学院進学を決め手になりました。いつもと違う環境に足を踏み入れると、新しい出会いや発見もありそうですね。

このつぶやきを見て「オフィスアワーも活用してみよう」と思ってくださった方もいると思います。一方で、研究室訪問はまだ勇気があるな…と感じる方もいらっしゃるのではないのでしょうか。

図書館 2 階 JWU ラーニング・commons さくらには、みなさんの先輩である大学院生のラーニング・サポーターがいます。勉強、進路のことなどなんでも気軽に相談できる場もありますので、ぜひご利用ください。お待ちしております。



ラーニング・サポーターのつぶやき (2022 年 6 月)

ホームページ https://lib.jwu.ac.jp/lib/lc_ls.html

編集: JWU ラーニング・commons さくら